

Front

Hole

Cut line

Back

Hole



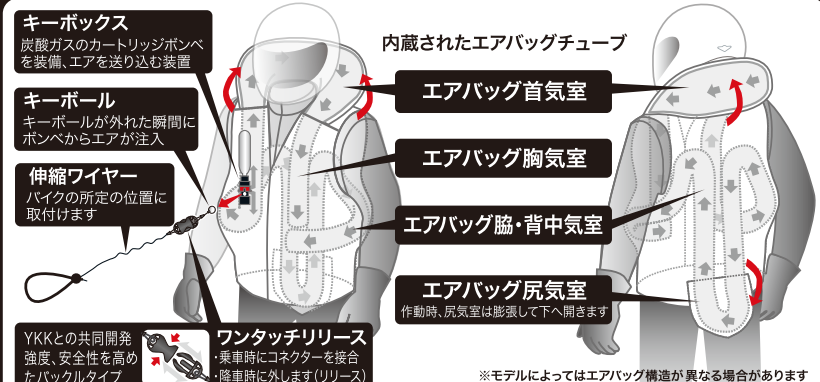
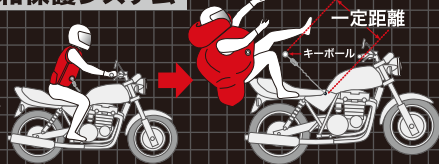
airbag system

着用するエアバッグ

バイクからライダーが飛ばされた瞬間にエアバッグが展開します!

Shock-buffering protection system 衝撃緩和保護システム

ウェアに内蔵されたエアバッグが転倒・追突などによってライダーがバイクから(一定の距離)離れた瞬間にキーボールが抜けキーボックスが作動しエアバッグが膨らみます。キーボックスが作動すると、カートリッジボンベより炭酸ガス(CO2)が首、背中、胸、尻などのエアバッグ気室に送り込まれ、人体への衝撃を緩和します。



エアーバッグジャケットは、必ず上衣として着用下さい。(レインウェア着用の際も、レインウェアの上にヒットエアを着用下さい)

走り出す前にワンタッチリリースを接続!

走り出す前に! わが身を守る確かな音 安全安心簡単装着!

接続音「かちっ!」

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクターを接続して下さい

エアバッグが展開しても繰り返し使用できます。

交換

エアバッグ展開後にジャケットやベストに損傷が無ければ、CO2カートリッジボンベを交換して、繰り返し使用する事が出来ます。

キーボールが抜けるとエアバッグが瞬時に展開します

展開後、徐々に炭酸ガスが抜けていきます

プロテクター ジャケット、ベストにプロテクター標準装備

※一部装備のないモデルがあります

オプション《胸部パッド》

ヘルメット簡単装着! ジャケット、ベストに装着用ヘルメット装着!

瞬間にエアバッグが展開

www.hit-air.com

伸縮ワイヤー 取付・収納方法

- 1 プロテクターチューブ フレームにプロテクターチューブを巻き付けて長さを調節し、あまった部分はカットします
- 2 伸縮ワイヤー チューブに伸縮ワイヤーを通す
- 3 チョウネジ ループセッター ワイヤーを溝に挟み込む
- 4 伸縮部分が伸びきった状態 バイクにまたがりスタンディング 伸縮ワイヤーが伸びきった状態 長さを決めます
- 5 チョウネジで強く締め付ける ワイヤーを硬く結ぶ 2cm以上残す 結び目を付ける
- 6 最終にループセッターでしっかり固定し、あまったワイヤーの根元を硬く結び、2cm以上残した状態でカットし、必ず先端にキャップをする

進行方向に対して右側のフレームに取付ける

取付位置 A: シートを外した内部フレーム部分 B: 右側の露出した固定可能なフレーム部分

結び目はワイヤーを抜かなくするためのスロットパーの役割をします

必ず結ぶ 1 輪を作り 2 輪に通す 3 硬く結ぶ 隙間なく

シートをかぶせて完成です

伸縮ワイヤーの長さ調節方法

バイクにまたがりスタンディングし伸縮ワイヤーの伸縮部分が伸びきった状態にする

OK NG

スタンディングで伸縮部分にゆとり、たるみ、余裕がある状態はダメ

伸縮部分が伸びきっていてもスタンディング出来ない、中腰状態はダメ

スタンディングで伸縮部分が伸びきった状態

ワイヤーが長すぎると作動が遅れる原因となります

ワイヤーが短すぎると誤作動の原因となります

スクーター例1: ハンドル部分の場合

スクーター例2: シート部分の場合

スクーター例3: 後部シート部分の場合

車上でのスタンディングで伸縮部分が伸びきった状態

地面からスタンディングし伸縮部分が伸びきった状態

後部ステップからスタンディングし(中腰程度)伸縮部分が伸びきった状態

バイクの大きさ車種、ご自身の身長によってワイヤー取付位置、長さが異なります上記を参考に自身にあった方法で調節してください

注意

伸縮ワイヤーは次のような場所への取付けはお避け下さい。

- ・運転動作の妨げになる場所
- ・バイクに損傷を及ぼす場所
- ・引張られた際に外れたり、抜けたりする場所
- ・エンジンやマフラー等の高温付近 など

《別売》収納用ワンタッチコネクター バイクを降りた時にワイヤーを収納固定できます。